



専攻科ニュース

——専攻科学生の活躍状況——

学会等表彰を受けました

平成 30 年度に学会発表等で 7 件の表彰を受けました。
おめでとうございます。

- (1) 加藤美夕 (AEI コース 1 年、長洲研究室) : 電気学会産業応用部門大会、ヤングエンジニアポスターコンペティション優秀発表賞、電力用半導体モジュールの多並列接続回路における電流検出回路の開発、平成 30 年 8 月 29 日
- (2) 田所駿 (AC コース 1 年、小松崎研究室) : The 7th International GIGAKU Conference、Best Poster Award、Synthesis and Property of Cobalt(II) Complex with Sulfur-Containing Ligand、October 5th, 2018
- (3) 大内洋佑 (2AE、成研究室) : 電気学会 電子デバイス・半導体電力変換合同研究会、学生奨励賞、非接触多重伝送を用いたゲート駆動方式の実現可能な高周波化の検討、平成 30 年 11 月 2 日
- (4) 大内洋佑 (2AE、成研究室) : 電気学会 東京支部茨城支所研究発表会、優秀発表賞、ワイヤレス多重伝送を用いたゲートドライブ回路の実験的な考察、平成 30 年 11 月 17 日
- (5) 内田真吾 (2AI、中屋敷研究室) : 電気学会 東京支部茨城支所研究発表会、優秀発表賞、EPSR における分散制御方式の検討、平成 30 年 11 月 17 日
- (6) 菊池洗樹 (2AI、安細研究室) : 電気学会 東京支部茨城支所研究発表会、優秀発表賞、ビルディングパズルを用いた公開鍵暗号系の開発、平成 30 年 11 月 17 日
- (7) 松田萌実 (1AC、宮下・小林研究室)、第 29 回日本化学会関東支部茨城地区研究交流会、優秀賞、固体酸触媒によるベンジルアルコールの対称エーテル化および不均化反応、平成 30 年 11 月 30 日

9:30-9:45	J-PARC 概要説明 齊藤直人 (J-PARC センター長)
9:50-10:15	MLF 見学
10:20-10:40	ニュートリノ実験施設見学
10:45-11:05	リニアック棟見学
11:10-12:25	総研大高エネルギー研究科紹介 弓野圭太* (素粒子原子核専攻)
11:25-12:00	卒業生との交流会 鳥居周輝**、瀬谷智洋**、弓野圭太*

(* 本校専攻科修了生, **本校本科卒業生)

見学を通して世界最先端のビックサイエンス施設の 1 つである J-PARC の魅力を満喫することができました。また、総研大で学ぶことの魅力や、J-PARC で働くことの魅力を、本校の修了生、卒業生から聞くことができました。



J-PARC 見学会、総研大紹介を実施

平成 30 年 12 月 18 日 (火) に、専攻科一年生を対象として、東海村の J-PARC の見学会および総合研究大学院大学 (総研大) 紹介、および卒業生との交流会を次の日程で実施しました。

J-PARC への往復のバス代は、地域協働サポートセンターからの援助金を利用しました。御礼申し上げます。

海外へ飛び出そう！

本年度、以下の専攻科学生が海外での研究、研修を経験しました。

朝鮮理工大 (韓国)	9/2 - 9/15	磯崎恵作(1AE)、大久保俊樹(1AE)、大泉拓也(1AE)、古木淳也(1AI)、菅原拓也(1AI)、菊池禎人(1AI)、白崎克(1AI)、松田萌実(1AC)
ISTS2018 (タイ)	10/6- 10/14	松田萌実(1AC)
ガジャマダ大 (インドネシア)	3/1 - 3/14	戸崎烈(1AM)、大久保俊樹(1AE)、大泉拓也(1AE)
グアナファト大 (メキシコ)	3/9- 3/19	磯崎恵作(1AE)
ルーアン応用科学大 (フランス)	3/11- 3/22	植田友樹(1AE)、松田萌実(1AC)
語学学校(カナダ) 北米横断	3/15- 12/22	伊藤新(2AI 休学中)
ルーアン応用科学大 (フランス) クイーンズランド工科大 学(オーストラリア)	9/10- 3/7 4/6- 8/11	小飼尚輝(2AE 休学中) (オーストラリアは H31 年度前期)

グアナファトを訪れてみて

磯崎恵作(1AE)

私は、専攻科1年の3月にメキシコのグアナファトに行きました。グアナファトの歴史的な街並みは世界遺産に登録されており、色彩豊かでとてもきれいでした。市街地に入ってみると、どこかしらで音楽が鳴り、市場やオープンテラスのレストランなどがあり、イメージ通り賑やかな国だなと感じました。サラマンカ高校、グアナファト大学を訪問した際には、アートの授業や化学の実験など体験させてもらいましたが、1番印象に残ったのはダンスです。音楽が鳴るとほとんどの学生たちが踊りだし、それに誘われるがまま私たちも楽しく踊りました。この研修を通して、日本から出て他の国の文化と交流することはとても新鮮で興味深いものだと感じました。



インドネシアにおける海外研修について

大泉拓也(1AE)

私は2018年度海外研修プログラムにおいて、3月初旬にインドネシアのガジャマダ大学に行ってきた。ガジャマダ大学とはインドネシアのジョグジャカルタにある国立大学です。ジョグジャカルタには世界遺産のボロブドゥール遺跡やプランバナン寺院等、様々な観光名所がある古都です。

ガジャマダ大学のプログラムにおいて、私は、自分の専門分野である電気回路の授業と英語の授業に参加しまし

た。私達に合わせ、授業は全て英語で行なって頂きました。参加した授業の一つにマイコンボードを用いて実際



にもものを作るというプロジェクトがありました。私とインドネシアの学生を合わせ四人のグループで一つの作品を作成する授業です。基礎知識を学び、何を作るか、作る目的は何か、実現可能かななどをディスカッションして、一からものづくりをしました。1週間という限られた時間の中で、インドネシアの学生達の面白いアイデアに刺激を受け、とても素晴らしい経験をすることができました。写真は、私が参加したクラスの友達と授業最終日に撮ったものです。

フランス研修を通して

植田友樹(1AE)、松田萌実(1AC)

私たちは3月11日～22日の日程でルーアン応用科学大学派遣に参加してきました。

この派遣が他の多くの語学研修と異なる点は、研修中の自由度が高いこと、また英語圏でない国で生活をするということです。

それぞれの専門科目の授業や実験、フランス語の授業に参加させていただいたのですが、多くの授業がフランス語で行われており、研修が始まった時はとても不安でした。しかし、この大学は様々な国からの留学生を多く受け入れていることもあり、先生方も現地の学生も温かく受け入れてくれました。授業中には、周りの学生がフランス語を英語に訳してくれ、放課後や休日には、一緒に食事に行ったり、市内観光をしたりととても充実した2週間となりました。

この研修を通して最も感じたことは、人と人の距離が日本と比べて近いという点です。現地の人同士だけでなく海外から来る人に対してもフレンドリーに接してくれたのがとても嬉しく、印象に残っています。今後、日本で外国の方と接する機会がさらに増えると思いますが、今回の経験を忘れずに、日本での滞在を楽しく感じてもらえるような環境づくりに貢献したいと思います。



特別研究Ⅰ及びⅡ発表会

平成31年2月4日（月）、5日（火）に2年生の特別研究Ⅱと1年生の特別研究Ⅰの発表会がコース毎に開催されました。平成27年度より特別研究は1年生の部分と2年生の部分に分かれています。そのため発表会もⅠとⅡというように区別して実施しています。例年と同様に発表会では発表者全員が口頭発表の一部又は全てを英語で行っており、英語を積極的に導入しています。



AIコース特別研究Ⅱ発表会



AEコース特別研究Ⅰ発表会（ポスター発表）

専攻科長賞受賞者の紹介

特別研究の内容及び特別研究Ⅱ発表会の結果、AEコース：二瓶颯斗さん、AIコース：内田真吾さん、ACコース：青野智哉さんの3名が専攻科長賞受賞者として各コースから選ばれました。受賞者の氏名は専攻科棟正面玄関に設置されているチャンピオンボードに刻印されました。

校長と専攻科学生の懇談会を開催

平成31年2月8日（金）15:00-17:00に専攻科棟A講義室において、校長と専攻科学生との懇談会が実施されました。学生からは（AE2）清水雄一郎さん（議長）、（AI2）川和凌大さん、（AC2）伊勢優一さん、（AM1）戸崎烈さん、（AE1）大泉拓也さん（書記）、（AI1）菅原拓也さん、（AC1）田所駿さんの7名が、教職員からは喜多校長、原専攻科長、丸山専攻科長補佐、日置教務係長の4名が参加しました。専攻科生からは主に以下の事項について要望、提案がなされ、意見を交わしました。

- ・修了、学位取得、JABEE認定など、必要な単位数をもう少し分かりやすく提示して欲しい。
- ・自分が一生懸命取り組んだ研究を周囲の人に分かってもらいたいので、特別研究発表会を英語で行うことをやめにして欲しい。英語を用いることを否定する訳ではなく、別に英語でプレゼンしたり論文を書く等の授業を設けて欲しい。
- ・特別研究を指導できる教員数を増やして欲しい。
- ・専攻科生の体育大会への参加を教職員と同じように認めて欲しい。

今後も専攻科学生から直接の意見を聞く機会を継続して設けていきたいと思います。



第17回専攻科修了証書授与式・

第15回JABEE技術者教育プログラム

修了証明書授与式・学位授与式

平成31年3月16日（土）13:00～、ひたちなか市文化会館（大ホール）において、第17回専攻科修了証書授与式・第15回JABEE技術者教育プログラム修了証明書授与式・学位授与式が挙行されました。今年度は、37名が専攻科を修了、学位を取得し、35名がJABEE技術者教育プログラム修了証書を受領いたしました。おめでとうございます。



本年度は、本校としては初めて特例適用の下での学位申請を行いました。初めての申請ということで、事務的な配布に齟齬があり、一部の学生には予定外の授業を受講していただく事態を招いてしまいました。改めてお詫びいたします。その協力のお陰もあり、特例適用の下で申請した34名、および従来型の学位申請をした3名、全員が無事学位を取得することができました。

専攻科修了生からの記念品

第 17 回専攻科修了生から、本科卒業生との共同で、校歌石碑が贈られました。校歌石碑は、正門から見て正面の時計塔横へ設置されています。貴重な記念品をありがとうございました。



平成 31 年度専攻科担当者

平成 31 年度の担当者は、専攻科長は原嘉昭、機械工学コース主任は小堀繁治、電気電子工学コース主任は弥生宗男、情報工学コース主任は岡本修、応用化学コース主任は石村豊徳、専攻科長補佐は丸山智章です。今後も専攻科の充実を図りながら、より良い専攻科運営を目指します。



*本ニュースに記載の学年は H30 年度の学年です。

修了生の進路予定一覧

本年度の修了生 37 名中 36 名の就職、進学先が決定しております。4 月から新天地でのご活躍を祈念いたします。

平成 31 年 3 月 29 日現在

コース	就職内定先	進学予定先
AE	クリアタクト 日立オートモティブシステムズ 国家公務員（外務省） JX 金属 日揮 日立化成 明電舎 メタウォーター Myway プラス	筑波大学大学院 (2) 東京大学大学院 長岡技科大大学院 北陸先端科学技術大学院大学
AI	今橋製作所 NTT データ アイ NTT 東日本グループ 日本原子力発電 日立アドバンスシステムズ 日立産業制御ソリューションズ (2) 富士通 富士フィルムメディカル	筑波大学大学院 (5) 北陸先端科学技術大学院大学 (3)
AC	旭化成 大陽日酸東関東 日東電工	茨城大学大学院 筑波大学大学院



2020 年度入学者選抜

2020 年度の専攻科入学試験日程は下記のとおりです。

推薦入試	2019 年 5 月 15 日 (水)
学力入試	2019 年 6 月 15 日 (土)

現在、学力入試の英語の評価は TOEIC L&R 等の外部試験のスコアで行っています。このため入試当日は英語の試験を行いません。詳しくは HP、募集要項を確認してください。